



2021年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社 THEグローバル社
コード番号 3271 URL <http://www.the-g.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永嶋 秀和
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 岡田 一男

TEL 03-3345-6111

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第2四半期の連結業績(2020年7月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第2四半期	15,336	93.5	167		200		1,012	
2020年6月期第2四半期	7,924	19.1	1,592		2,063		1,721	

(注) 包括利益 2021年6月期第2四半期 959百万円 (%) 2020年6月期第2四半期 1,707百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第2四半期	69.93	
2020年6月期第2四半期	127.08	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期第2四半期	38,849	6,391	16.5	225.79
2020年6月期	46,303	4,404	9.4	319.92

(参考) 自己資本 2021年6月期第2四半期 6,391百万円 2020年6月期 4,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期		0.00		0.00	0.00
2021年6月期		0.00			
2021年6月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日～2021年6月30日)

現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表します。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年6月期2Q	28,306,000 株	2020年6月期	13,601,000 株
期末自己株式数	2021年6月期2Q	76 株	2020年6月期	76 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年6月期2Q	14,480,027 株	2020年6月期2Q	13,545,847 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	10
(追加情報)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、低水準ではあるものの緩やかな持ち直し傾向で推移しておりますが12月に入り新型コロナウイルスの感染症が再拡大したことに伴い、観光支援等の各種施策が一時停止されたことなどを背景に依然として厳しい状況が継続しております。

当社が手掛けるホテル業界につきましては、訪日外国人観光客の需要については、2020年3月以降98%以上の減少となっており、入国規制の緩和は難しいことから、今後も暫くはほぼゼロの状況が続くと見込まれております。9月以降は政府の観光支援施策等もあり、徐々に回復傾向にあったものの限定的な回復に留まっております。

このような状況下当社グループでは、リースバックをしているホテルの賃料減免交渉等、経費削減に努めるとともに、引続き京都ホテルプロジェクトにおける新型コロナウイルス感染症収束後のブランド戦略活動に努めております。また運営においては、政府の観光支援施策等もあり回復傾向にあったものの新型コロナウイルス感染症が再拡大し、依然変わらず一部のホテルを除き休業を余儀なくされております。

不動産業界におきましては、首都圏の新築分譲マンションの2020年供給戸数は上期の7,489戸から下期に挽回し27,228戸(前年比12.8%減)となりました。平均価格は1990年以来の6,000万円台に上昇、初月契約率は66.0%(前年62.6%)と前年比3.4ポイントアップしました(不動産経済研究所調べ)。また、リモートワークの普及を背景に2020年5月以降は30歳代以上のファミリー層の都心近郊への転出超過数が増加し、ファミリータイプの分譲マンションの供給エリアに変化が生じている一方で、20歳代の若い層は依然東京都内への転入がやや弱含みながらも例年同様に増加しております。投資用マンション市場は、ワンルームマンションの賃貸需要を支える若い層の安定的な首都圏への転入超過に加え、価格帯のバリエーション等により年金対策や相続対策など様々な需要に応えられる市場となっております。引き続き堅調に推移しております。

当社グループでは、開発中分譲マンション等の販売を進めるとともに、都心及び都心近郊の実需分譲マンション及び投資用マンション用地の仕入れ活動に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高15,336百万円(前年同期比93.5%増)、営業利益167百万円(前年同期は1,592百万円の営業損失)、経常損失200百万円(前年同期は2,063百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失1,012百万円(前年同期は1,721百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は以下のとおりであります。

[マンション事業]

マンション事業におきましては、「ウィルローズ日本橋浜町公園」、「ウィルローズ鳩ヶ谷エディオ」等合計50戸及び収益物件等7物件の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高6,178百万円(前年同期比142.1%増)、営業利益1,159百万円(前年同期は営業利益78百万円)となりました。

[ホテル事業]

ホテル事業におきましては、「京都三条高倉通プロジェクト」、「京都東洞院通プロジェクト」等、合計3棟(97室)の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高5,533百万円(前年同期比797.3%増)、営業損失523百万円(前年同期は1,110百万円の営業損失)となりました。

[戸建事業]

戸建事業におきましては、「練馬区向山1期プロジェクト」、「台東区竜泉三丁目プロジェクト」、「八王子市寺町プロジェクト」等、分譲43戸及び収益物件9物件の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高3,127百万円(前年同期比26.1%減)、営業利益4百万円(前年同期は1百万円の営業損失)となりました。

[販売代理事業]

販売代理事業におきましては、グループ会社開発及び他社開発物件の販売代理を行い、地域別の引渡実績は、東京都区部25物件64戸、東京都下1物件1戸、神奈川県4物件30戸、千葉県1物件1戸、埼玉県2物件20戸、合計33物件116戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高205百万円(前年同期比32.0%減)、営業損失13百万円(前年同期は営業利益66百万円)となりました。

[建物管理事業]

建物管理事業におきましては、2020年12月31日現在のマンション管理戸数が3,665戸となります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高228百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益22百万円(前年同期比4.8%増)となりました。

[その他]

その他としましては、不動産賃貸事業等による収入であります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高163百万円（前年同期比40.6%増）、営業利益5百万円（前年同期は38百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ7,454百万円減少し38,849百万円となりました。負債については前連結会計年度末から9,441百万円減少し32,458百万円となりました。また、純資産については前連結会計年度末から1,987百万円増加し6,391百万円となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は以下のとおりであります。

資産の主な変動要因については、物件販売の進捗及び物件の完成により、仕掛販売用不動産が11,997百万円の減少、販売用不動産が4,646百万円の増加したことによるものであります。

負債の主な変動要因については、有利子負債が8,561百万円減少したことによるものであります。

また、純資産の主な変動要因としては、第三者割当増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,499百万円増加、親会社株主に帰属する四半期純損失により利益剰余金が1,012百万円減少したことによるものであります。

< キャッシュ・フローの状況 >

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ563百万円増加し4,472百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失932百万円、たな卸資産の減少額7,363百万円、仕入債務の減少額150百万円を主要因として、6,497百万円の収入（前年同期は6,722百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、担保差入定期預金の預入による支出174百万円を主要因として、388百万円の支出（前年同期は339百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減額4,659百万円、長期借入れによる収入3,349百万円、長期借入金の返済による支出7,037百万円、株式の発行による収入2,999百万円を主要因として、5,538百万円の支出（前年同期は1,277百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期の連結業績につきましては、未だ収束の見えないコロナ禍において、現時点では、業績に影響を与えらると思われる未確定な要素が多く、合理的な算定が困難であるため、未定とさせていただきます。

今後、業績への影響を慎重に見極め、連結業績予想の算定が可能となりました時点において速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,491,080	5,306,721
売掛金	36,224	43,035
販売用不動産	15,194,426	19,841,196
仕掛販売用不動産	21,021,738	9,024,080
前払費用	617,804	515,974
その他	801,039	612,409
流動資産合計	42,162,314	35,343,418
固定資産		
有形固定資産	1,539,203	1,515,357
無形固定資産	26,691	23,992
投資その他の資産		
投資有価証券	453,720	526,934
破産更生債権等	218,749	218,749
長期貸付金	1,554,438	4,133,022
繰延税金資産	251	453
その他	1,715,766	1,117,111
貸倒引当金	△1,367,244	△4,029,450
投資その他の資産合計	2,575,681	1,966,821
固定資産合計	4,141,576	3,506,172
資産合計	46,303,891	38,849,590
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,389,154	2,230,191
短期借入金	7,920,813	3,261,000
1年内返済予定の長期借入金	13,273,704	11,073,509
1年内償還予定の社債	255,000	130,000
未払金	290,156	196,691
未払法人税等	224,971	58,053
未払消費税等	80,728	10,852
前受金	482,055	478,849
賞与引当金	7,753	9,653
その他	385,293	187,458
流動負債合計	25,309,630	17,636,258
固定負債		
社債	1,840,000	1,790,000
長期借入金	13,985,259	12,482,757
繰延税金負債	369,481	83,054
その他	395,337	466,321
固定負債合計	16,590,077	14,822,134
負債合計	41,899,708	32,458,392

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	424,466	1,924,376
資本剰余金	1,370,695	2,870,605
利益剰余金	2,526,322	1,513,776
自己株式	△33	△33
株主資本合計	4,321,451	6,308,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,725	79,068
為替換算調整勘定	2,001	3,404
その他の包括利益累計額合計	29,727	82,473
新株予約権	53,004	—
純資産合計	4,404,183	6,391,197
負債純資産合計	46,303,891	38,849,590

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
売上高	7,924,541	15,336,084
売上原価	6,361,248	12,748,883
売上総利益	1,563,292	2,587,201
販売費及び一般管理費	3,155,491	2,420,124
営業利益又は営業損失(△)	△1,592,198	167,077
営業外収益		
受取利息	18,032	7,471
受取手数料	4,926	6,267
解約精算金	6,600	21,700
受取地代家賃	5,399	6,131
貸倒引当金戻入額	—	26,933
雇用調整助成金	—	91,177
その他	13,163	23,656
営業外収益合計	48,122	183,337
営業外費用		
支払利息	305,533	216,826
持分法による投資損失	19,923	—
支払手数料	126,506	14,465
為替差損	52,943	15,107
貸倒引当金繰入額	—	64,882
事業損失引当金繰入額	—	201,292
その他	14,737	38,317
営業外費用合計	519,645	550,892
経常損失(△)	△2,063,721	△200,476
特別利益		
投資有価証券売却益	27,968	—
関係会社株式売却益	—	10
新株予約権戻入益	—	53,004
特別利益合計	27,968	53,014
特別損失		
固定資産除売却損	0	1,078
事業構造改善費用	—	784,152
特別損失合計	0	785,231
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,035,752	△932,693
法人税、住民税及び事業税	58,083	390,751
法人税等調整額	△372,452	△310,897
法人税等合計	△314,368	79,853
四半期純損失(△)	△1,721,384	△1,012,546
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,721,384	△1,012,546

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△1,721,384	△1,012,546
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,237	51,342
為替換算調整勘定	△2,057	1,403
その他の包括利益合計	14,180	52,745
四半期包括利益	△1,707,204	△959,800
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,707,204	△959,800

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,035,752	△932,693
減価償却費	95,386	29,865
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,633	3,250
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△900	37,948
受取利息及び受取配当金	△18,887	△8,338
支払利息	305,533	216,826
事業構造改善費用	—	784,152
為替差損益(△は益)	52,932	15,094
投資有価証券売却損益(△は益)	△27,968	—
有形固定資産除売却損益(△は益)	—	1,078
持分法による投資損益(△は益)	19,923	—
売上債権の増減額(△は増加)	682,007	△39,481
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,949,707	7,363,865
前払費用の増減額(△は増加)	△150,346	46,225
長期前払費用の増減額(△は増加)	△2,374	2,206
未収消費税等の増減額(△は増加)	280,042	△83,166
仕入債務の増減額(△は減少)	△424,368	△150,578
未払金の増減額(△は減少)	△52,974	△74,489
未払消費税等の増減額(△は減少)	△45,843	△69,876
未払費用の増減額(△は減少)	△83,683	△44,820
前受金の増減額(△は減少)	285,946	△2,129
預り金の増減額(△は減少)	△190,739	△10,967
その他	324,661	390,630
小計	△5,938,744	7,474,601
利息及び配当金の受取額	5,809	5,144
利息の支払額	△290,686	△270,948
法人税等の還付額	49,667	—
違約金の支払額	—	△157,746
法人税等の支払額	△549,032	△553,561
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,722,986	6,497,489

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	6,120	28,800
定期預金の預入による支出	△53,340	△108,100
担保差入定期預金の預入による支出	—	△174,813
貸付金の回収による収入	—	50,936
貸付けによる支出	△245,500	—
有形固定資産の取得による支出	△85,870	△23,508
無形固定資産の取得による支出	△4,007	△10,517
差入保証金の回収による収入	34,047	78,180
差入保証金の差入による支出	△67,914	△147,286
保険積立金の積立による支出	△2,101	△2,101
投資有価証券の売却による収入	128,968	2,395
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△82,968
関係会社株式の取得による支出	△50,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△339,598	△388,983
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	800,692	△4,659,857
長期借入れによる収入	11,232,600	3,349,100
長期借入金の返済による支出	△9,372,061	△7,037,068
社債の発行による収入	293,525	—
社債の償還による支出	△1,361,000	△175,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	25,127	—
リース債務の返済による支出	△4,374	△15,797
株式の発行による収入	—	2,999,820
配当金の支払額	△337,289	△100
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,277,219	△5,538,903
現金及び現金同等物に係る換算差額	△41,703	△6,052
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,827,069	563,549
現金及び現金同等物の期首残高	9,986,952	3,909,230
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,159,883	4,472,780

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結会計期間において、新たに設立しました株式会社グローバル・ホテルパートナーズを連結子会社の範囲に含めております。また、株式譲渡により株式会社グローバル・ホテルマネジメントを連結子会社の範囲から除外しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大の影響による会計上の見積り)

当第2四半期連結会計期間における新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定については、前連結会計年度における有価証券報告書の(追加情報)に記載した内容から重要な変更はありません。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行)

2020年3月31日に公布された「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)により、2022年4月1日以後開始する連結会計年度から、連結納税制度はグループ通算制度に移行することとされましたが、連結納税制度を適用している当社及び一部の国内連結子会社は、当第2四半期連結会計期間においては、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)に基づき、改正前の税法の規定を前提とした会計処理を行っております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2020年10月28日開催の取締役会決議により、第三者割当による新株式発行14,705,000株の発行を決議し、2020年12月21日に払込が完了しております。

有償第三者割当

発行価格	2,999,820,000円 (1株につき204円)
資本組入額	1,499,910,000円 (1株につき102円)
割当先	株式会社アスコット

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	マンション 事業	ホテル 事業	戸建 事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	2,551,744	616,674	4,230,903	189,182	219,678	7,808,184
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	113,582	—	113,582
計	2,551,744	616,674	4,230,903	302,765	219,678	7,921,767
セグメント利益又は損失 (△)	78,197	△1,110,495	△1,772	66,227	21,027	△946,814

(単位：千円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	116,356	7,924,541	—	7,924,541
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	113,582	△113,582	—
計	116,356	8,038,124	△113,582	7,924,541
セグメント利益又は損失 (△)	△38,948	△985,763	△606,435	△1,592,198

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、ゴルフ練習場運営等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△606,435千円には、未実現利益の調整額等△6,000千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△600,435千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	マンション 事業	ホテル 事業	戸建 事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	6,178,057	5,533,580	3,127,626	104,670	228,586	15,172,522
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	101,062	—	101,062
計	6,178,057	5,533,580	3,127,626	205,732	228,586	15,273,584
セグメント利益又は損失 (△)	1,159,107	△523,709	4,866	△13,243	22,036	649,058

(単位：千円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	163,562	15,336,084	—	15,336,084
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	101,062	△101,062	—
計	163,562	15,437,147	△101,062	15,336,084
セグメント利益又は損失 (△)	5,558	654,616	△487,539	167,077

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△487,539千円には、未実現利益の調整額等△6,000千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△481,539千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。